

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

暴露開始時および 48 時間後に測定した被験物質の実測濃度が設定値の±20%以内であつたので、各影響濃度の算出には設定値を採用した。

2) 24 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : >50.0 mg/L

最大無作用濃度 (NOECi) : >50.0 mg/L

100%阻害最低濃度 : >50.0 mg/L

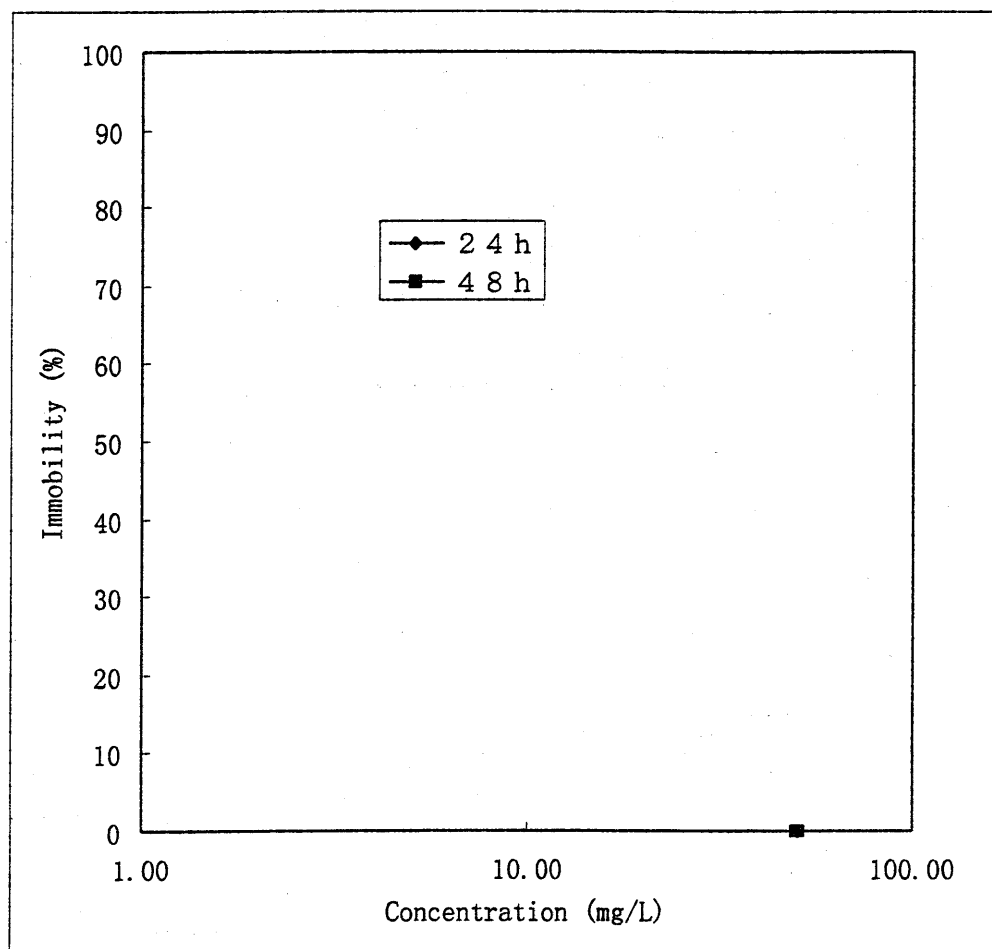
3) 48 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : >50.0 mg/L

最大無作用濃度 (NOECi) : >50.0 mg/L

100%阻害最低濃度 : >50.0 mg/L

Figure 1 Concentration-Immobilization Curve for a 48-Hour *Daphnia magna* Immobilization Test



要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

フタル酸ジトリデシルのオオミジンコ (*Daphnia magna*)に対する繁殖阻害試験

試験番号

7 B 7 6 1 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.202「ミジンコ類，急性遊泳阻害試験および繁殖試験」（1984年4月採択）の改訂版であるガイドライン No.211「オオミジンコ繁殖試験」（1997年4月提案）に準拠して実施した。

- 1)被験物質： フタル酸ジトリデシル
- 2)暴露方式： 半止水式（週に3回，試験液の全量を交換）
- 3)供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4)暴露期間： 21日間
- 5)試験濃度(設定値)： 対照区，助剤対照区，10.0 mg/L（試験可能上限濃度）
（助剤濃度一定：40mg/L，HCO-40 および DMF使用）
- 6)試験液量： 1 容器（連）につき 80 mL
- 7)連数： 10容器（連）／濃度区
- 8)供試生物数： 10頭／濃度区（1 連につき1 頭）
- 9)試験温度： 20±1℃
- 10)照明： 16時間明／8時間暗
- 11)被験物質の分析： H P L C 法

結 果

1)試験液中の被験物質濃度

暴露期間中に測定した試験液の被験物質濃度が、設定値の±20%以内であったため、各影響濃度の算出には設定値を採用した。

2)21 日間の親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) :

>10.0 mg/L

3)21 日間の 50% 繁殖阻害濃度 (EC50) :

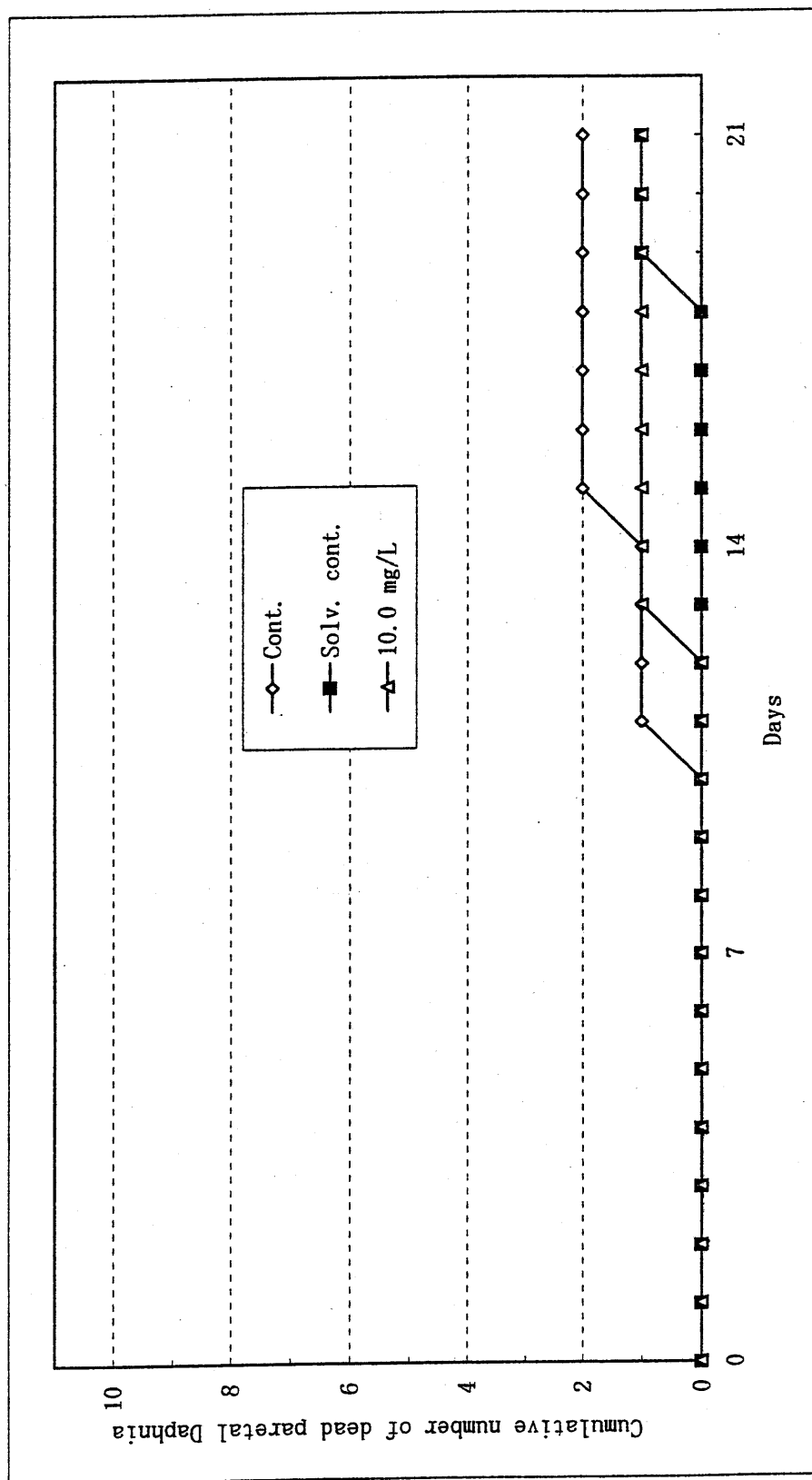
>10.0 mg/L

4)21 日間の最大無作用濃度(NOEC) :

>10.0 mg/L

5)21 日間の最小作用濃度(LOEC) :

>10.0 mg/L

Figure 1 Cumulative Numbers of Dead Parental *Daphnia*

Values in legend are given in the nominal concentration.